

## 平成29年度第8回教育委員会定例会会議録

1. 日時 平成29年11月21日 午後2時01分

2. 場所 矢巾町役場2-2会議室

3. 出席委員

教育長	和田 修
教育長職務代理者	関村 昭子
委員	大坊 一男
委員	掛川 はるな
委員	齊藤 学

4. 説明のために出席した職員

学務課長	村松 康志
社会教育課長	野中 伸悦
共同調理場所長	佐々木 忠道
学務課長補佐	田村 琢也

5. 開会

午後2時01分、平成29年度第8回教育委員会定例会を開催する旨を宣した。

6. 委員点呼

委員全員の出席を確認し、会議が成立する旨述べた。

7. 会期の決定

11月21日の一日と決定する。

8. 報告

○教育長

それでは4. 報告に入ります。報告第14号「矢巾町教育委員会の活動について」、事務局より説明をお願いします。

○学務課長補佐

別紙資料に基づき朗読する。

○教育長

報告第14号について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

〈全員なしの声〉

9. 議事

○教育長

それでは、5. 議事について本日はございません。

10. その他

○教育長

6. その他に入ります。報告(1)町内小中学校における事故・問題行動等の発生状況について、事務局より説明をお願いします。

○学務課長

別紙資料に基づき説明する。

○教育長

報告（1）について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

○大坊委員

レベル2以上の報告の内容について、①や②とありますが、①がなかったり②がなかったりすることは何かここに意味があるのでしょうか。

○学務課長

レベル2以上に関しては報告をいただいて連番を付けている訳ですが、今回から解決したものに関しては、3か月経過していれば掲載しないということになっておりますので、解決したものが抜けている状況でございます。

○教育長

③、④の意味はどういうことですか。

○大坊委員

①、②がなくて③から始まっている内容があるのですが。

○学務課長

①、②に関しては前の月には①、②を載せていると思いますが、最新の状況について③、④、⑤ということで載せていると。学校から報告を受けた中で、この点については皆さんに知っていただきたいという重要なところを抜き出して載せていると頃でございます。①から書いているところもありますし、③から書いているところもありますが、それぞれの内容によって①から載せると流れがわかるといったことを配慮して記載しているところでございます。

○教育長

①、②というのは何か月ということではないですか。例えば、③、④、⑤というのは3か月目、4か月目、5か月目にはこのような報告がされていますという意味だと思います。確認したほうがいいと思います。

○学務課長

5mは5か月ということで、これと一致しておりますので、4mの方は④までです。その月ごとの状況を書いているということでございました。

○関村職務代理者

けがのことですが、腕相撲で骨折したのは昼休み時間ということなので遊んでいた中でのことだと思いますが、普通に腕相撲をしていて骨折したのか、悪ふざけしながらのことなのか。今子どもたちすごく骨折しやすいと、転んだだけでも骨折すると聞いたことがあります。

○学務課長

詳しい話は聞いておりません。

○教育長

報告自体の中身では、自分が予想していなかった力が加わったためにそれでけがをしたということで、非常にもろくなってきている状況はあると思います。この2件以降、11月にも1件あって、続いております。こういう事故やけがは続く傾向があり

ます。全体的に子どもたちの骨はもろくなってきています。腕の力は弱くなってきています。

○掛川委員

一部の学校の学年でいじめの認知件数が多いように感じました。様々なうわさがありますが、実際問題が多い中で、学校や生徒が平穏でいられる環境のためにどのような対策を取っているのでしょうか。

○教育長

問題が起きているということでそこに先生方を多数配置して見る機会を多くしているからこそその状況が報告されて、いじめの事案として挙がるということで数が増えていることが実情です。同じようにいじめの件数が急に増えている学校がありますが、これはアンケートを取った月だから50件、6月にもアンケートを取ったから35件、同じようにアンケートを取った時です。何かに力を入れると数が増えます。今回も注目をして見ているので、このような報告となりました。

○教育長

報告（1）について、ほかに何かご意見、ご質問等ございませんか。  
〈全員なしの声〉

○教育長

次に、報告（2）社会教育課関係事業について、事務局より説明をお願いします。

○社会教育課長

別紙資料に基づき説明する。

来年のロードレース大会は9月の30日ということで決定しております。10月の第1週に町の運動会が予定されているということで今回開催よりも1週間早めるということでございます。

○齊藤委員

町に行事がずいぶん多いと思いましたが、年々増えているのですか。

○社会教育課長

行事的には同じくらい行っておりました。

○齊藤委員

田園ホールの稼働率はどのようになっているのでしょうか。

○社会教育課長

80何パーセントで、県内の同じ規模のホールとしては非常にいい状況であります。

○齊藤委員

専属の管弦楽といったものはあるのでしょうか。

○社会教育課長

専属はありませんが、田園室内合奏団が田園ホール出来た時に結成いたしまして、今も先生を招き指導を受け定期演奏会も行っております。

○齊藤委員

田園ホールで演奏するときというのは、レベルがある程度のところまで行っている方々を呼んでいるということですか、プロも含めて。自由に使える状況になっている

わけではありませんよね。

○教育長

教室のようなものはないのかということですね。

○社会教育課長

教室的なものは公民館で練習して、発表の場が田園ホールという形で、稼働率は町の自主事業、田園ホールの自主事業、貸館等で、田園ホールを借りる場合、1つの大会を行う場合は前日の仕込みや後日のバラシがありそこも含めての貸館ということなので、使っているということでカウントしておりました。イベントの数というわけではありません。

○齊藤委員

昔は例えばクラシック音楽の有名な方をお願いすると料金も高くなり、田園ホールの音響を活用したコンサートも結構多かったのですが、入場者数があまりよくなかったと聞いたことがあります。

○教育長

色々なアイデアを持ってやっているといます。

○社会教育課長

有名な方をお呼びするとチケット代が高くなって人が入らなくなる、少ないといったことも起きますのでバランスが難しいところであります。

○学務課長

伊奈かつぺいさんはすごかったですね。

○社会教育課長

完売はなかなかないそうです。県外からも結構来ていただいたということで。

○教育長

報告（2）について、ほかに何かご意見、ご質問等ございませんか。

〈全員なしの声〉

○教育長

次に、報告（3）学校給食共同調理場運営状況について、事務局より説明をお願いします。

○共同調理場所長

別紙資料に基づき説明する。

11月14日に銀河のしずく給食ということで全小中学校の児童生徒の皆さんに銀河のしずくを提供させていただきました。これに伴いまして、不動小学校5年生の会場には教育長さんにもお越しいただきながら、町長、議会の副議長さん、JAの組合長さん、給食会計の会長さん、生産者さん、生産者さんにつきましては同じ不動地区の星川忠博さんという方で、この方は昨年度自分の圃場の中で岩手県知事さんが稲刈りをされ報道された方でした。その方とともに銀河のしずく給食を味わったところがございます。マスコミにつきましては有線放送さん、岩手日報さん、盛岡タイムスさん、テレビにつきましてはテレビ岩手さん、テレビ朝日さん、それぞれ取材いただきまして、児童生徒の皆さんに対しましての食育+この事業につきましては

役場産業振興課ともコラボしている事業でございまして、併せまして町内産、町内での銀河のしずくを作付けし、おいしいお米を作っていることをPRすることをかねて各報道機関さんにもPRいただけたのかと感じております。

○齊藤委員

放射性物質濃度は震災後から計測を始めたのですか。

○共同調理場所長

震災後から始めさせていただいております。あくまでも今までも危険値は出ておりません。今まで継続していることも安全ということを数値化などでPRした中でという意味合いに切り替わってきたのではないかと思います。安全な給食ということの担保という形でホームページにも毎食掲載させていただいております。

○齊藤委員

ずっと基準値は安全ということですか。

○共同調理場所長

ずっと安全です。震災以降に始まったものでございます。

○教育長

報告（3）について、ほかに何かご意見、ご質問等ございませんか。

〈全員なしの声〉

○教育長

次に、行事予定について、事務局より説明をお願いします。

○学務課長補佐

別紙資料に基づき説明する。

○教育長

その他ですが、別紙ということでコミュニティスクールということで説明をさせていただきます。来週の総合教育会議でもこのことについて話題にしたいということで、その前に教育委員会会議でも話しておきたいと思い、出しました。法律で決まって平成32年度までにコミュニティスクールを立ち上げると、各自治体でということになりました。各都道府県それぞれの自治体で取り組みを始めているところです。岩手県内で例えば大槌学園、吉里吉里学園、これは小中併設という形での一貫校を取っております。あるいは隣接している柳沢小中学校や土淵や、八幡平市でも取り組みを始めています。近隣のところでも進めておりますので、見ながら取り組んでいきたいと思っております。基本的に学校というのが従来閉鎖性があるということで、学校の中でどのようなことが行われてどういうふうに教育が行われて、そして学校運営が行われているのかということ公表すべきだということで評価制度を取りました。その評価制度をしたことによって外部評価、保護者の方々からあるいは第三者の方々から評価をしてもらってそれを公表しなさいということになりました。学校に対する理解を深めてもらう協力をしてもらうというためには外部に対してそういう説明が必要だろうということで始まりました。そういった中で学校の運営委員会というものを設置しなさいということが次になりました。学校の運営がどのようにされているかというこ

とを地域の方々の代表の方々に説明をし、ご意見をいただいて学校運営の参考にする。このコミュニティスクールはその一歩先を行っています。今まで学校運営委員会というのは、学校経営に対しての意見は参考意見を話せるけれども、ちゃんとした意見としては反映されなかったです。コミュニティスクールでは、人事権、いわゆる人事に対しての意見も述べるができるようになります。こういうふうな教員、人を取るということはどうなのでしょうかとといった具体的な意見を言えることも含まれております。学校運営についての具体的な意見も話をし、それがどのようになったかということの説明を学校長がしなければいけないということが違ったところですよ。海外の日本人学校では先駆けているいろいろやっていることなのですが、日本人会が設立した日本人学校というのは、学校運営委員会が上にあつて、その人たちが人事権もお金も握っています。学校に対してお金をそこで出して人を雇わせる、学校運営に対して非常に強い意見を出します。それを基にして学校運営がされ、月1回説明の会があります。これを日本でも行おうとしているのがこのシステムです。1つの学校で行われる場合もあるし、複数の学校で一緒になってやるというケースもあります。私の方向性としては、矢巾町全部、6つしかない学校を全部1まとめにしてコミュニティスクールという形にして、その上に学校運営協議会を設置してというのはどうかということを進めていきたいと思っております。これはあくまでも今の時点での私の考えです。他の自治体に参考資料をいただきながら、あるいは文部科学省にも問い合わせをしながらどのような方法が矢巾町に合っているか、子どもたちのためにあるいは地域のためにどういう方法が合っているか考えていきたいと思っております。参考の資料として載せさせていただいております。あらためて総合教育会議で話をしたいと思っております。

○学務課長

これに関する資料を今週中に送らせていただきます。もう少し細かく、文部科学省で出した資料がありますので、送らせていただきます。

ほかにその他ございませんか。

〈全員なしの声〉

○教育長

それでは、以上をもって本日の会議を終了いたします。

(午後2時47分)

以上、会議の概要を記録しここに署名する。

平成29年12月22日

矢巾町教育委員会

教育長

和田 裕

教育長職務代理者

関村 昭子

委員

大坊 一男

委員

掛川 はるな

委員

齊藤 学